



平成27年4月30日

各 位

上場会社名 株式会社サンリツ
 代表者 代表取締役社長執行役員 三浦 康英
 (コード番号 9366)
 問合せ先責任者 取締役常務執行役員 田中 光晴
 (TEL 03-3471-0011)

業績予想の修正(連結・個別)に関するお知らせ

当社は、平成26年5月14日に公表しました平成27年3月期の通期業績予想を、下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成27年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	17,430	620	460	220	36.65
今回修正予想(B)	17,830	565	385	126	20.99
増減額(B-A)	400	△55	△75	△94	
増減率(%)	2.3	△8.9	△16.3	△42.7	
(ご参考)前期実績 (平成26年3月期)	17,062	533	344	108	18.01

平成27年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	13,990	570	340	56.64
今回修正予想(B)	14,440	579	222	36.98
増減額(B-A)	450	9	△118	
増減率(%)	3.2	1.6	△34.7	
(ご参考)前期実績 (平成26年3月期)	13,434	496	258	43.12

修正の理由

売上高につきましては、当下期において医療機器関連の3PL分野の取扱額が減少したことに加え、第4四半期には、国際海上貨物における工作機械の出荷が国内向けへシフトしたことにより輸出が伸び悩み、前年から続いていた増収増益基調にやや陰りが見え始めました。しかしながら、年間を通じては無線通信機器の取扱額が大幅に増加したことに加え、国際海上貨物における工作機械の取扱額が円安を背景に増加したことにより、連結・個別ともに前回予想数値を上回る見込みとなりました。

利益面につきましては、中国連結子会社において主要顧客の中国からの生産移管が進み、売上高が大幅に減少しました。かかる事態に対応するため、子会社の事業領域・体制の見直しを行い、大胆な合理化を推し進めました。これにより、割増退職金として販管費103百万円が発生したほか、在庫処分等の一時的な費用が発生し、連結利益を大きく引き下げました。

また、個別業績につきましては、平成27年1月19日に公表しました「当社孫会社の持分取得(子会社化)に関するお知らせ」により、中国の孫会社3社を直接子会社化いたしました。取得手続き上、中国監督官庁の認可を受ける必要があり、取得価額は取得前数か月の財務諸表をもとに第三者機関である中国の評価会社が算出した価格を使用せざるを得ませんでした。その後、これらの会社の今後の業績のV字回復を図るため、大胆な人員削減、在庫の圧縮等を早期に一部実施したことにより、子会社純資産に大幅な減少が生じました。このため、66百万円の関係会社株式評価損を特別損失として計上する見込みとなりました。

配当予想について

上記の業績予想の修正に伴う平成27年3月期の配当予想の修正はありません。

※当資料に記載されている内容は、種々の前提に基づき記述したものでありますが、この記述は、将来の業績を保証するものではなく、経営環境の変化等により異なる可能性があることをご留意ください。

以上